

# 動労千葉3月決戦スト貫徹の地平をおし拓げ 『ストなし春闘』策動を打ち破れ!

## 81春闘四月決戦ストライキで、相次ぐ生活破壊と反動攻撃に対決しよう

81春闘は、極めて危機的な様相を呈している。四月九日、鉄鋼六・九九%の一発回答(定昇込み一万三、五〇〇円)、十日私鉄回答七・三%(一万四〇〇〇円)とストなし春闘を策動する政府・資本のペースで押しまくられている。そして、「公企体関係も七%前半の攻防」などとマスコミも一斉に賃上げ抑制に加担している。

しかし、ゆれゆれは、こうした厳しい81春闘の中で賃金引上げ要求を行って以降、去る三月十四日才一回面交より今日まで四回にわたる面交を行い当局を追い込んできている。そして、ゆが動労千葉の三月ジェット決戦闘争が切り拓いた戦闘的労働運動の新たな力をもつて四月決戦ストを実現し、相つぐ生活破壊と反動攻撃に断固として対決しなければならぬ。

### 危機にかられた政府・資本の攻撃が激化

日本経済は、二度にわたる石油ショックのち、長期経済不況と低迷におち入り、高度経済成長がもはや過去のものとなり、今日、日米経済戦争とりわけ日米、日欧小型車競争に象徴されるごく輸出によってしか一定の「発展」を保つことが出来ないところまで至っている。

そして、日本の輸出攻勢は、明らかにアメリカやヨーロッパなどの真正面からの利害をむき出しにしたぶつかりあいとなってきました。激化している。

こうした情勢の下で、日本の支配階級は、憲法改悪と軍事大國化、大衆収奪と搾取の強化、さらに闘う労働者、人民への攻撃を強めることによつて危機を乗り切ろうとしている。

すなわち、軍事費の増額と大増税を基本とする81年度国家予算の強行、自民党憲法調査会による憲法改悪にむけた改憲試案作りの開始、三里塚二期工事年内着工攻撃、81春闘

最中における国鉄・私鉄運賃値上げ策動、相つぐ諸物価の値上げ、全専売山形事件に対する最高裁の公務法合憲判決、行政改革の名の下に公務員労働者の大量首切り攻撃や公務員

二法(退職手当減額法、定年制導入法)強行策動、また国鉄再建135万人体制攻撃、スト権スト二百億円損賠などなど。

さらに、この81春闘を「ストなし春闘」と

して押え込み、一切の戦闘的労働運動を破壊することを通して支配階級自らの危機を乗り切ろうとしているのである。

### ストなし春闘策動を打ち破ろう

こうした政府・支配階級の攻撃の激化の中で、自征隊承認1改憲攻撃入ととり込まれた公明、民社両党はもとより、野党勢力の無力化が一層進んでいる。

そして、今81春闘において「公務協は例年になく戦闘力を低下させている」などとマスコミにいわれているように、更

力賃金闘争をぬきにした「民間準拠」方式にたより切っているのが現状である。とりわけ、動労「本部」革マル反動分子のごときは、81春闘の最中に、**鉄労も含む国鉄五組合の一員として共同歩調をもつて「国鉄再建」問題に公然と積極的**

**に取り組み出しているのである。**

このことは、昨年十月、東京三局における乗務員運用合理化に卒先協力し、国鉄労働者の利益を売り渡し、そして、あ

のゆが動労千葉の三月ジェット決戦闘争に對し、国鉄当局・権力と一体となつて敵対し、スト破りを積極的に行つた動労「本部」革マル反動分子にしてみれば、至

極当然の結果であるといえる。ゆれゆれは、このように支配階級の攻